

小学生の部 入賞

僕の少年野球チームの監督は、民生委員をされています。民生委員とは、地域の身近な相談者として、必要な支援を行う存在です。

監督は民生委員として、学校登校時に生徒にあいさつをしていることもあります。僕は監督がいるとうれしい気持ちになります。なぜかというと、何百人もいる生徒の中から、僕に気が付いてくれ、声をかけたり、手をふってくださるからです。広い視野で僕たちのことを見守って下さる民生委員の監督は、僕にとって憧れの二刀流選手な存在です。

今春、僕は監督からチームの主将に任命されました。監督は僕の良いところも、悪いところも分かって下さっています。その上で、僕を主将に選んで下さったことに全力で応えていきたいです。

民生委員としても、監督としても、二刀流選手の監督に、僕自身も近づきたいです。

「監督、いつもありがとうございます。そして、これから僕
僕の成長をみていて下さい。」